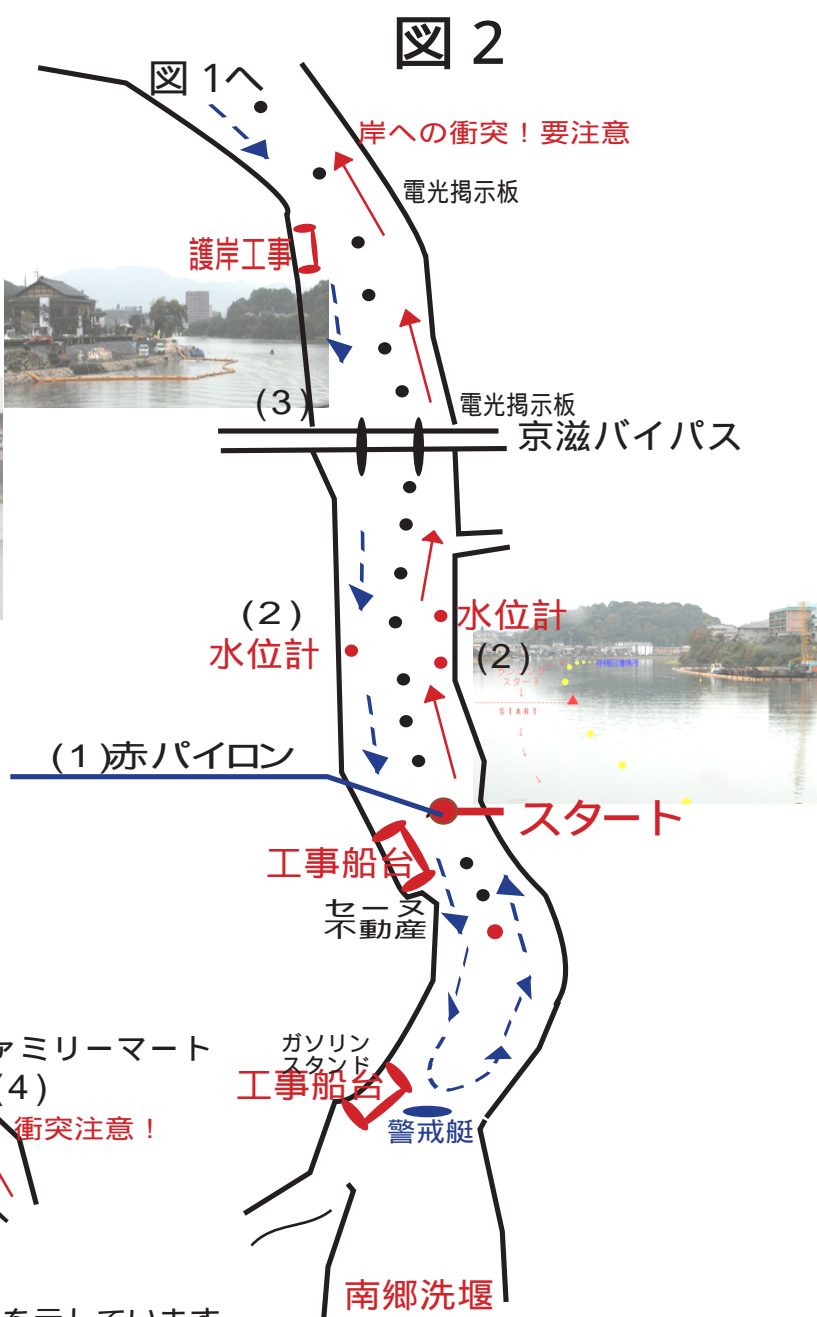
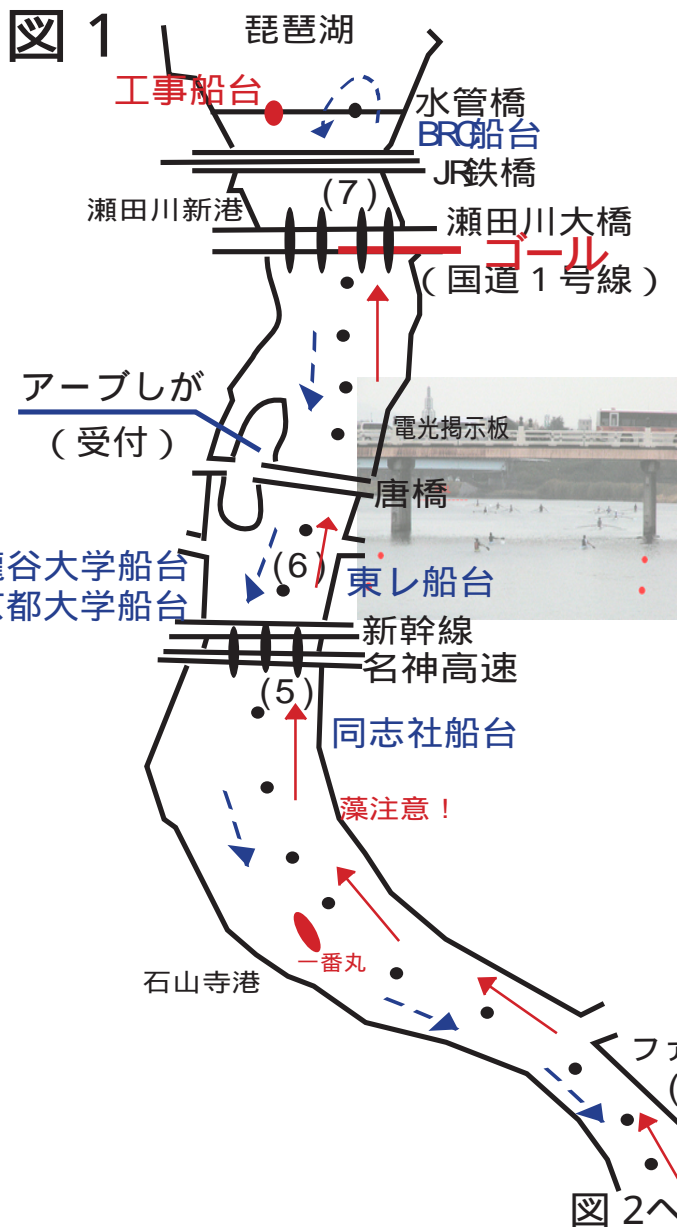


# 2008年 Head Of The Setaコース図



- \* 図中の赤矢印は、レース艇が取るべき航路を示しています。
- \* 瀬田川は右側通行です。スタートに向かう際は点線矢印の航路（石山寺側）を航行して下さい。
- \* スタート付近には工事船台が係留されていますので注意して下さい。
- \* 石山寺側は観光船（一番丸）も運航されていますので、先導する警戒船の指示に従ってください。

## 主な危険箇所（スタート位置から順に記載）

- (1): スタートは 南郷洗堰より少し上流の平津1丁目（滋賀大実習船の船台）対岸です。例年の折返し地点です。今年、この付近で散策路の工事船台が設置されています。特にスタートに向かう際は注意して下さい。
- (2): 兩岸川岸から少し離れたところに水位計があり、見落としやすいので危険です。橋脚やカーブを通過した後にこれらは現れるので、航路の修正に注意する必要があります。
- (3): 京滋バイパスではコースバイに従ってレース艇はバイの東側（一番東側の橋脚と川岸の間）を通行してください。スタートに向かう艇はコースバイの西側（石山寺側）を下ってください。
- (4): このカーブは、比較的急なため、特に通過中・通過後に逆行する危険性があります。
- (5): 名神高速の中央の橋脚に衝突する危険があります。
- (6): 名神高速～唐橋は、地形上逆行になりがちです。また、唐橋は橋脚の間隔がクルーが通過できる程度しかありません。
- (7): ゴール付近は、混雑の原因となり危険ですので、速やかに転回するか上流に向かって下さい。